

理事長メッセージ



コスモ石油エコカード基金
理事長

森川 桂造

10年目を迎え、これまで以上に会員の皆さまとともに。

このたび、コスモ石油エコカード基金理事長に就任いたしました森川桂造と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

コスモ石油エコカード基金は、約8万人の会員の皆さまに支えられ、2011年4月で10年目を迎えました。10年という長い間続けてこられたのは、ひとえに約8万人の会員の皆さまの地球環境保全に対する強い想いと支援のおかげです。ここに厚く御礼を申し上げます。

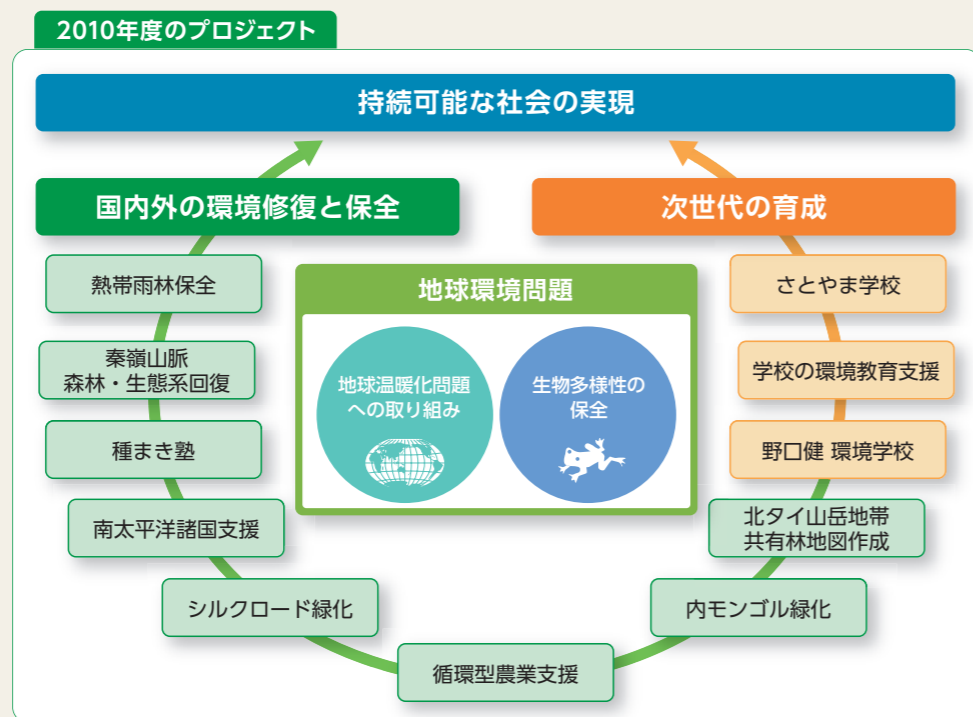
3月11日に発生した東日本大震災では、東北・北関東地方を中心に、多くの尊い命が失われ、各地で壊滅的な被害が発生しました。犠牲になられた方、被災されたすべての方々に心よりお見舞いを申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。当基金としても“環境”を通じた震災復興の観点から宮城県気仙沼市に拠点を置くNPO法人「森は海の恋人」へ支援することにいたしました。豊かな海の恵みは森があってこそ生まれるとの考えに基づき、エコカード会員の皆さまの想いをのせて、東北地方の一日も早い復興を願いつつ、支援していきたいと思っております。

今年は、基金設立10年を記念して、日頃基金を支えていただいている会員の皆さまにより身近にご自宅で環境活動を体験していただくために“いのちとココロを育む「種まき塾の里親プロジェクト」”を実施いたします。ぜひご参加ください。そして4月からは、新たに「生物多様性の保全」をテーマとする4プロジェクトへの支援を開始しました。今後は、会員の皆さまが活動を体験できる機会をさらにつけていきたいと考えています。

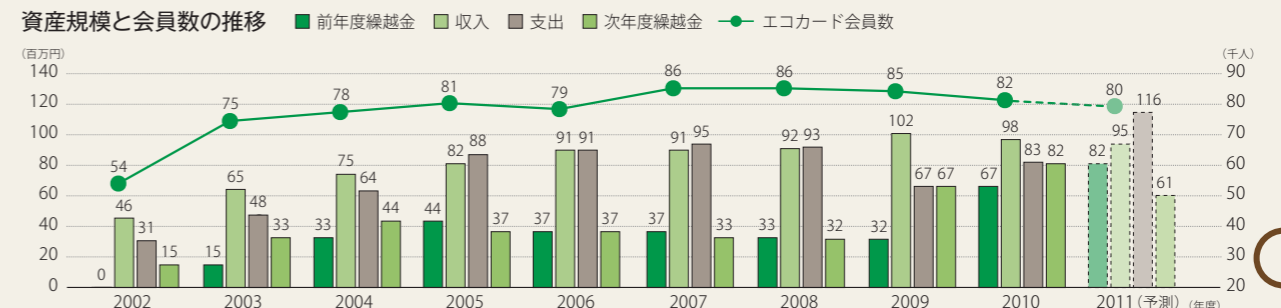
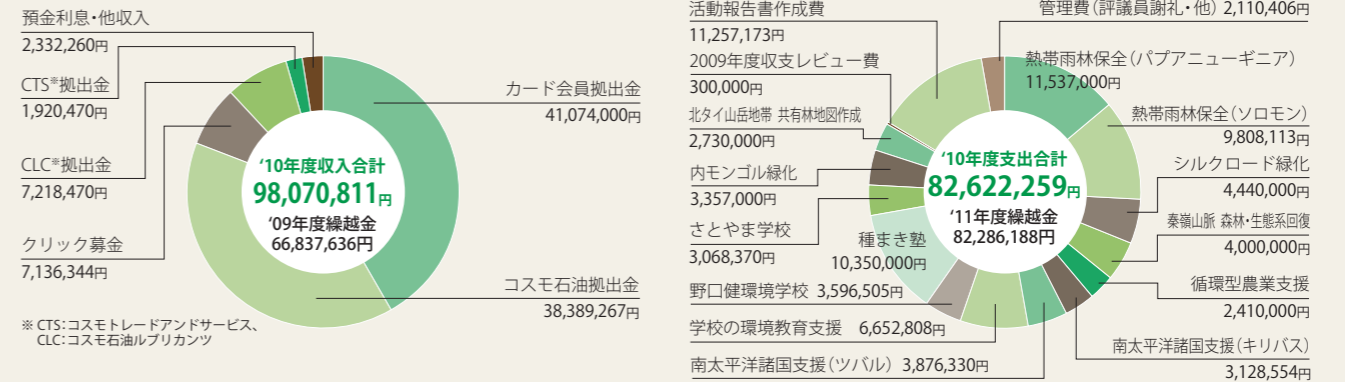
私たちエコカード基金は、会員の皆さまからお預かりした大切な寄付金を、世界各地のさまざまな環境問題の解決のために活用し、透明性と健全性を保って継続的に運営することが重要であると考えます。基金設立10年目という新たなステージを迎え、これまで以上に会員の皆さまとともに、「ずっと地球で暮らそう。」の合い言葉にふさわしい環境保全活動を展開していますので、よろしくお願い申し上げます。

「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクトについて

コスモ石油エコカード基金では、「国内外の環境修復と保全」及び「次世代の育成」をテーマに、持続可能な社会の実現をめざしています。本基金で展開している「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクトでは、「地球温暖化問題への取り組み」及び「生物多様性の保全」という2つの側面から、環境問題には、貧困、食糧難、教育など、さまざまな社会的な課題が密接に関連しているという現実を踏まえ、本質的な問題解決に取り組んでいます。



収支報告

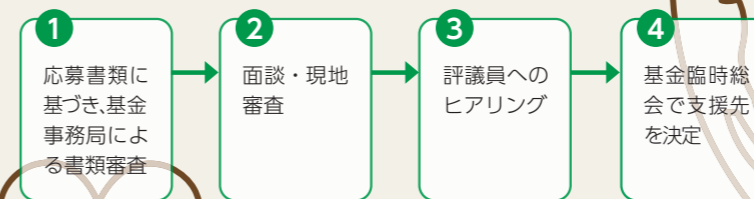


2011年度は予測値です。今年度は、新規5プロジェクトを開始するなど、会員の皆さまからお預かりした寄付金をこれまで以上に環境保全活動に活用してまいります。

収支計算書に対する独立した公認会計士のレビュー報告書
コスモ石油エコカード基金の委嘱に基づき、同基金の2010年度(2010年4月1日～2011年3月31日)の収支計算書についてレビューを行った結果、収支の状況を適正に表示していないと認められる事項は、すべての重要な点において発見されなかった。
2011年5月20日 公認会計士 加藤 俊也

2011年4月スタート 新規公募プロジェクト決定しました!

2010年12月から翌1月にかけて新たなプロジェクトを公募し、厳正な審査のもと、3月に4件の支援を決定しました。新しいプロジェクトは主に「生物多様性の保全」を目的とし、エコカード会員の皆さまにも参加していただける機会を設けてまいります。新しい情報は、エコカード基金ホームページでお知らせしますので、ご期待ください。



- 決定!
- ムササビとともに暮らす 里山再生 (山梨県)
 - どんぐりの森 里山再生 (長野県)
 - ピオトー浮島 水辺の生態系回復 (埼玉県)
 - 南太平洋諸国生態系保全 (日本、南太平洋諸国)

東日本大震災の復興支援
「学校の環境教育支援」プロジェクトでつながりのあるNPO法人「森は海の恋人」へ支援(宮城県) 詳しくは同封の報告をご覧ください。